

ボランティアに参加して

学生 長内麻誉

私が日韓アジア基金を知ったきっかけは、中国留学中に知り合った、日韓アジア基金設立者の禹守根さんです。私が韓国語を話す事が出来る事を知り、禹さんが日韓アジア基金のお話をして下さいました。私は高校生の頃から日中韓の関係に関心があり、私に何か出来る事はないかと考えていたので、日韓アジア基金を知り帰国後必ず活動に参加しようと思っていました。そして、帰国後今回のニュースレター発送作業のボランティアに参加する事にしました。

まず参加して驚いた事は、学生を中心とした幅広い年齢層の方がボランティアに参加している事、それからボランティアに参加している方々の動機や目的が様々である事です。実は参加する前には、同じ目的を持った方々が参加しているのではないかと勘違いしていました。しかし、そうでない方々も参加して下さいる事が一番意味がある事だと思いました。そんな参加背景が様々な他の参加者の方々を見て、まずは行動をする事が何よりも大事な事だと学びました。そして今回のボランティア活動を通し他の参加者の方々と協力して何かをする達成感を久しぶりに味わいました。



今回はニュースレターの発送作業と言う事で、手書きのメッセージを書きました。心を込めて自分で書くので、自分が活動に参加している実感が湧きます。人から人への支援、そして人から人への感謝がボランティアの魅力であり、意味であることをたくさん感じました。

これからは、日韓アジア基金の活動に積極的に参加して、基金の活動への理解を深めるだけでなく、活動の輪を広げて

行けたらいいなと思いました。そして、こうして今私がボランティアに参加出来るのは、発足から今日まで支援をして下さっている方々、大澤さん、その他ボランティアをされている方々のお陰であり、感謝の気持ちと同時に私も皆さんのように基金の活動を引き継いで発展させて行く人になりたいと思いました。他の外国の友達や日本の友達も呼んで、多くの人たちがお互いに対する偏見をなくし、そして活動の結果が一人でも多くのカンボジアの子供達が積極的に勉強する機会となれば良いなと思いました。